

- 北海道運輸局は、佐川急便(株)と北海道旅客鉄道(株)が実施する貨客混載事業の総合効率化計画※を2019年4月16日に認定しました。
- 今般認定した計画は、佐川急便の幌延町向け宅配貨物を、JR北海道宗谷線(稚内駅～幌延駅)の旅客列車を活用して貨客混載輸送を行い、幌延駅から各配達先まではタクシーを活用することによって、物流の効率化を図ろうとするものです。
- これにより、トラックドライバーの運転時間の削減、CO₂排出量の削減が図られます。
- JR旅客会社を利用した宅配貨物の貨客混載、鉄道とタクシーという複数の旅客モードを組み合わせたの貨客混載事業としては、全国で初めての取組となります。

背景

- ◆ 人口減少・過疎化の進行による物流の非効率
- ◆ 広域分散型の地域構造による物流の非効率
- ◆ 物流分野における労働力の不足
- ◆ 温室効果ガス排出量の削減

地域のインフラである物流を維持するための一助

効果

- ◆ 物流事業者の業務効率化・サービスの向上
- ◆ トラックドライバーの運転時間: 年間417時間削減(34%削減)
- ◆ トラックからのCO₂排出量: 年間3.8トン削減(84%削減)

今後の展開

宗谷線による取組状況をフォローし、新たな取組の展開を支援

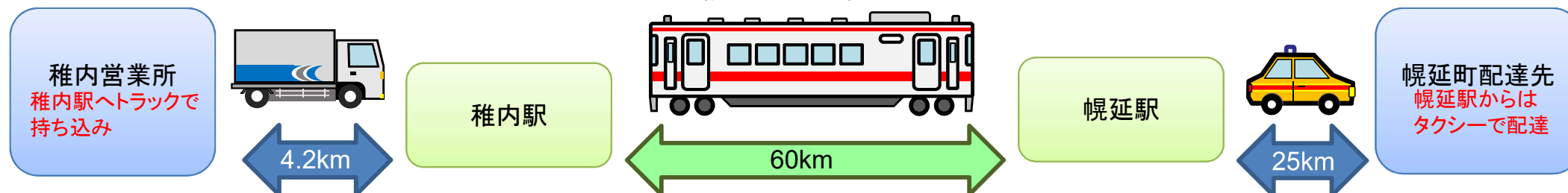
※総合効率化計画

労働力不足や多頻度小口輸送の進展等を背景とする物流分野における省力化・効率化・環境負荷低減を推進するため、2以上の者が連携した幅広い物流効率化の取組を支援



出発式で認定書の交付

<転換後>



稚内駅

荷物ボックスを列車内へ積み込み



後方出入口側の横向き座席使用



幌延駅

列車から降ろし、機材に載せて移動



ホームからタクシーへ積み込み

